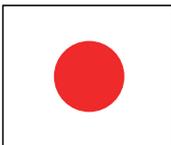


神・自然・人間は本来一体である “新しい文明”の基礎づくりを進めよう！



祝日は国旗を掲げましょう。

皇紀2680年

— 神無月 —

10月号

発行所
生長の家両丹道場
舞鶴市宇北吸 497 番地
TEL (0773) 62-1443
FAX (0773) 63-7861
白鳩会 (0773) 63-5080
発行人 伊藤 夏樹
編集人 船木 悟

◎ “自然と共に伸びる運動”の実現のため、
“神においてすべて一体”の宗教心を多くの人に広げよう！
◎ 第一線の「誌友会・母親教室」を活発に開催して、壮年層会員の拡大と普及誌購読者・聖使命会員拡大の一年にしよう！



神の無限生命をわが内に観ずる祈り（抜粋）

生長の家総裁 谷口雅宣

神さま、私はあなたの生命に生かされている神の子です。私の内部には今、あなたの命の泉が滾々と湧き出しています。それは、呼吸を通して脳を活性化し、心臓を拍動させて全身に酸素を送り込んでいるだけでなく、肉体の臓器や諸器官の機能の背後で、すべてを調和させ、同期させ、循環させながら刻一刻、新たな細胞を生み出している力です。私が何を命じなくても、精緻複雑なこの体が正常に機能しているのは、神さまの無限の生命力のおかげです。私が普段、その神秘に気づかず、体の諸器官や臓器や組織が正しく働くことを「当たり前」と考えていたことを反省します。神さまの命がここにあり、神さまの知恵がここに働き、神さまの愛によって今護られていることを私は感じます。神さまは私だけでなく、他の六十億を越える人々の命も、さらに圧倒的な数の動植物や菌類の生命も、その同じ知恵と愛と力によって生かされています。神さまのこの御心（みこころ）を思うとき、私はすべての人々と生物と環境全体が、神さまの無限の命によって深く結ばれ、輝いていることを感じます。

（『日々の祈り 神・自然・人間の大調和を祈る』七十四〜七十六頁）

今こそ「大調和の神示」の教えを

京都第二教区教化部長 伊藤 夏樹

生長の家の聖經『甘露の法雨』の最初の部分、また聖典『生命の實相』第一巻の谷口雅春先生のご文章の最初を飾るものは、どちらも「大調和の神示」（『七つの燈台の点燈者』の神示）となっています。谷口雅春先生はこの神示をとっても大切と考えられていたのです。（参照：『宗教はなぜ都会を離れるか？』一〇〇頁）

それでは谷口雅宣先生監修の新刊『新しい文明』を築こう。上巻、目次より前にあるご文章は何でしょうか。また、『万物調和六章経』の巻頭には何がありますか。そうです。やはり「大調和の神示」が掲げられているのです。新刊書では神示をまとめた章があるのに、わざわざ「大調和の神示」だけが前に掲載されています。総裁先生もこの「大調和の神示」を生長の家になくしてはならない重要なものとされているのです。

ここには何と和合せよと書いてあるでしょうか？（中略）「天地一切のものと和合せよ」と書いてある。それも一度だけでなく、わずか数行の短い文の中に五回も、「天地一切のもの」とか「天地の

万物」に和合せよと書いてある。だから、これが生長の家の教えの“根本”だと言えるのです。それでは皆さん、「天地一切のもの」とは何のことですか？それは文字どおりの意味です。「自然界を含めた一切の存在」と和合せよというのが、吾々の信仰の基本中の基本だということです。（『宗教はなぜ都会を離れるか？』一〇二頁）

そして、この神示の教えについて次のようにご指導くださっています。

人間は自然界と共存しなければいけない、ともに繁栄しなければいけない——それが「大調和の神示」の教えであります。（同書一〇二頁）

さて、前号からの続きになりますが、「新型コロナウイルスによる感染症拡大から学ぶこと」について、先生が強調された一つは「人間中心主義はよくない」ということでした。産業革命以降、人間は他の生物や自然環境を傷めつけながら物質的に支配しようとしてきた、その動物への処置が、結果的に人間に大きな被害や損害を与えていることとあり、肉食を含めた「人間中心主義」の不自然な動物との接触が感染を拡大しているとの

ことでした。

これらの「人間中心主義による自然と動物軽視」が大
きな原因だとすることについて、科学者の知見が機関誌
『生長の家』で紹介されています。

グドオール博士は、ウイルスが動物から人間に感染する
原因の一つは、動物の生息地の減少と大規模農法にと
なう森林伐採だと述べ、これにより動物同士の、また動
物と人間との接触が深まり、異種間での感染に結びつ
ていると語っている。(機関誌『生長の家』二〇二〇年七
月号九頁)

同誌には他にも「オーストラリアの海岸地域から森林
が失われ、冬場のコウモリの生息地が減少していること
が原因で他の感染症の危険が拡がっている」とのアンド
リユー・ピーターズ博士の指摘が紹介されています。やは
りコロナ問題においても、その解決には「大調和の神示」
の教えにある通り、人間中心主義をやめて一切の生物を含
む自然と和解し、自然界と共存共栄すべきであるのです。

前面上段には「神の無限生命をわが内に観ずる祈り」
の抜粋を掲載させていただきました。ここにありますよ
うに、神さまは私だけでなく、他の人々の命も、さらに
人間だけでなく、圧倒的な数の動植物や菌類の生命も、
すべてその同じ知恵と愛と力によって生かされているわ
けですね。このことをいつも思い出し、やはり人間中心
主義ではなく、「神・自然・人間は本来一体」の真理を徹
底して生活したいと思えます。

〜青年会便り〜

青年会事務局長 渡利 あすか

「笑いの練習」

昨今のコロナ禍の影響で生長の家のみならずあらゆる
所において対面で集まる機会が減っております。家と
職場とスーパーの行き来だけで一週間が終わることもし
ばしばでしたが、少し前から近所に住む小国雅子先生
と一緒に、週に一度だけ集まって「笑いの練習」をする
習慣を始めました。人と会う機会も少ない中では思いき
り笑う機会も減っております。思いきり口を開け、声を
出してワッハッハと笑う、それだけでも鬱憤の溜まった
現状では良いストレス解消になりました。もちろん、誰
かと一緒にやるのなら距離を開ける、対面にはならない
ようにするなど、飛沫が散らないように十分な対策を行
う必要があります。感染症対策をしつかりした上で、一
人、もしくは少数人数のみの短時間で行う笑いの練習も良
いものだと思います。今できる範囲で、色々と工夫しな
がら楽しく過ごせるように努めたいものです。

私のエコ生活

職員 新宮 義人

約二十年前、地元スーパーで白地に緑の線が入った
エコバックが目が留まり見ると、「地球にやさしい
くらし。私たちはたいせつにします」とあり早速購
入。それ以来、買い物にはいつも携帯し、今では所々
ほつれも。七月からはレジ袋が有料化となり、これ
までは「レジ袋いりません」と言っただけを貼っ
てもらっていたのが、店員の方から「このままでい
いですか」と。時勢が変わったと実感しています。
またマイ箸も十年以上前から使用しており、外食
の予定があるときは持参するようにしています。

食品の購入にあたっては、以前は賞味期限が長い
方を購入していましたが、食品ロスを少しでも削減
できるように賞味期限切れが早いものから購入する
ようになりました。

今後は自転車通勤をする日を作り、少しでも地球
環境にやさしい行動をしていきたいと思っています。

～ 地方講師会だより ～

合掌ありがとうございます。

地方講師・光明実践委員の皆様には、「自然と
共に伸びる運動」の実現のためにご尽力頂いて
おりますことを心より感謝申し上げます。

去る八月二十二日(土) 十時～十時四十五分、
ZOOM使用の研修会を開催致しました。

参加者は三十名でした。講師の皆様も段々と
インターネット環境に慣れていただいているよ
うに思います。研修会の内容としては「新しい
文明」を築くためには、日常の仕事、生活、そ
して、生長の家の運動の中で、善一元の信仰を
表現し、倫理的な生活の素晴らしさを勉強させ
ていただきました。

十月度地方講師・光明実践委員 ZOOM 使用の研
修会のご案内
日時：令和二年十月二十日(火) 十時～十時
四十五分

テキスト・会員
必携書『新しい
文明を築こう』
上巻(基礎編)
中巻(実践編)
『生長の家』機
関誌 当月号
普及誌 No.128

※活動報告書は出講
されていなくても毎
月十日までに提出し
てくださいますよう
お願いいたします。



《DVDの視聴》

オンデマンド配信されました
 総裁先生、白鳩会総裁先生の
 「急設スタジオ」からの動画がDVDになり、
 オンラインで動画を視聴出来ない会員の
 皆様にも視聴して頂くことが出来ました。



10月度の対策部だより

普及誌購読者拡大

ありがとうございます。皆さん、お元気で過ごされていますか？長い猛暑日が続きコロナ感染症が未だに終息が見えないこの夏でしたね。こんな時だから生長の家の教えに触れてみましょう。普及誌『いのちの環』を紹介します。「すべては神仏のいのちの現れ」という教えをもとに、自然環境に配慮した生き方を提案します。更に、生長の家の「人間・神の子」の教えによって、人生の様々な問題を解決し、幸せを実現した体験も紹介され、読み続けることで環境意識が高まると共に、人生を好転させる為のヒントが学べます。普及誌3誌を常に手元に置いて頂き、あらゆる場面でお役に立ててください。

普及誌『白鳩』No.126のひかりのステージおしゃべり広場(P.50)に、新井弥生様の「ヘチマたわし作り」の投稿が掲載されています。

聖使命会員拡大

生長の家では、「人間は皆、神の子である」という根本真理の自覚と、自信に満ちた明るく積極的な良き言葉がこの世を住み良くし、全ての人々を幸福に導くカギであると説いています。この人類への福音は、生長の家の“人類光明化運動・国際平和信仰運動”として全世界へ向かって伝え広められ続けています。

この運動の資金を会員の献金によって賄うのが「生長の家聖使命会」の制度です。献資という清らかな愛の行いを通して、全ての人々に本当の幸福をもたらす生長の家の運動に繋がるあなたが、幸福にならないはずはないのです。なぜなら、「与える者は、与えられる」という法則によって、あなたの愛の行いが、あなたに帰って来るからです。この素晴らしい聖使命会に私たちの真心を尽くしましょう。

支部・誌友会・会員

季節も変わり、少ししのぎやすくなって来ました。引き続き気を抜かずコロナ感染防止対策を忘れずに。「誌友さんお元気ですか？」の確認でもよろしいです。スマホ、お電話を利用してお声を聞いてください。よろしくお祈りします。

<うちんとこの誌友会>

ありがとうございます。東舞鶴総連森本町支部です。和やかに、楽しい楽しい誌友会です。毎回講師のお話は、心に響き勉強させて頂く事ばかりです。コロナの感染防止対策がきちんと対応された暁には、参加人数が少ないので、お一人でも多くこの誌友会に来てくださるよう、これからもお誘いを続けて行きたいと思っております。

令和2年10月度行事予定

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	曜
先祖供養祭(10時)【オンライン】 五者会議(11時30分)【オンライン】	〔道場休館日〕	(白) 正副会長会議(10時)						〔道場休館日〕	(教区) 献労の日(有志のみ)					聖使命感謝奉納祭	〔道場休館日〕	本部・教化部行事
																教化部長
伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	早朝行事担当

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土
		〔道場休館日〕	谷口清超大聖師十二年祭(10時)【オンライン】					拡大参議	〔道場休館日〕	普及誌仕分け日	(講) 地方講師・光実一日研修会(10時)及び同役員会【オンライン】(10時45分)	(白) 総連会長・対策部長担当会議(10時)	(相) 正副・地区連会長会議(13時)	住吉神社月次祭(10時)【オンライン】
近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原

☆五者会議及び各組織の会議・研修会はオンラインを予定しております。
また、先祖供養祭、住吉神社月次祭、谷口清超大聖師十二年祭はフェイスブックで会員へライブ動画を配信しておりますので、活用ください。

☆令和2年7月豪雨被災者支援募金ありがとうございます
 ・一般支援募金 24,300円
 ・信徒支援募金 15,700円 8月19日現在。
 同募金は10月15日まで受け付けております。
 ☆お賽銭ありがとうございます
 19,050円

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について
 日本国内及び全世界ではいまだ感染者が後を絶たず、第二波の懸念が続く中、道場ではこれまで通り、感染予防対策を維持していく予定です。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。